

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS FT

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の
「生の声」をご紹介いたします！ 取材：営業部 営業企画推進課

岐阜薬科大学 様

現在導入されている ORPHIS FT5230 (2022 年8月 /1台、2023 年3月 /1台)
について、岐阜薬科大学 教授 田中様よりお話を伺いました。

教育効果を高めるカラー印刷

岐阜薬科大学では主に毎年4～7月、10～1月の時期に講義のレジュメを印刷するためにORPHISを使用しています。現在、レジュメは大事な箇所に★マークを付けたり、分かりやすいように色分けを行って見やすくし、学生が学習しやすいように心がけて作成しています。ORPHIS導入前は、カラーで手軽に印刷できる環境では無かった為、フォントサイズの大きさの変更や、下線を引いて重要な部分を区別するなど伝わりやすい資料にする手段が限られていた。しかし、ORPHISの導入により、レジュメを作成する環境が大きく変わりました。特に解剖や体の仕組みを教える授業では、繊細な図が多く使用されるため、カラーのレジュメが非常に効果的です。モノクロのレジュメだとなかなか伝えられずにいた部分が、カラーのレジュメで講義をすることによって、伝わりやすさが格段に変わりました。「カラーの方が圧倒的に分かりやすい」と学生からの反響があり、講義も効果的にできるようになりました。ORPHISの使用は教材や資料の印刷が多い教育現場では欠かす事ができません。印象を強く残せるカラーの視覚情報の提供が可能になることで、生徒の理解力や学習効果を高めることができ「質の高い教育」(SDGs 4)にも繋がっているのではないでしょうか。



カラー印刷を身近にするプリンター

岐阜薬科大学では1科目につき120人程度の学生が講義を受けています。1回90分間の講義に使うパワーポイントで作成したレジュメは40～50ページあり、印刷時間削減の為2面付けで印刷をしていますが、それでも1回で2,000枚以上の印刷を行っています。

印刷以外にも授業前にしなければならない準備もあり、毎分120枚のスピードで印刷ができるORPHISの使用が教員の負担軽減に繋がっています。また、レジュメは全て仕分けしステープル留めを行って生徒に配布しています。ORPHIS導入以前は丁合機を使用していましたが、丁合機は印刷済の資料を仕分けて一部にする機械の為、印刷済用紙が乾いていなかったりすると調子が悪い時もあり、その時は数人の職員でテーブルに1枚ずつレジュメを並べて1部ずつ手作業でホチキス留めを行っていました。人手が足らない時は1人でやる時もあり、以前の環境と比べると印刷作業が信じられないほど楽になりました。

今年度2台目のORPHISも設置され、長時間印刷をする職員の方がみえる場合、もう一台のORPHISで作業ができるので、他の職員の皆さんも重宝されています。印刷終了までの時間も分単位で表示される機能もあり、ORPHISが混み合っていてもどの位の時間で空くのかが分かりやすいので、その部分も助かっています。

環境に配慮した ORPHIS 使用により持続可能な社会の実現に。

ORPHISの導入により、講義のレジュメ作成や印刷業務が効率化され、学生達の学習環境も向上しました。今後もORPHISの導入による効果を最大限に活かし、より良い教育環境を提供可能と考えています。

また、ORPHISは教育環境の向上だけでは無く、熱を使わないインクジェットの機械なので、電力消費を削減しエネルギーの効率的な利用を促進する事ができます。エネルギーの効率化やクリーンエネルギーの利用を目指す「持続可能なエネルギー」(SDGs7)の観点から見ても環境に配慮され、より持続可能な社会の実現に貢献することが期待できると思います。

営業担当者の声

デジタル教育コンテンツやデジタル映像を利用した授業が注目されている中、アナログ部分である「紙」での教育教材をデジタルとうまく組み合わせ、双方の利点をうまく活かした教材をORPHISでうまく作成されているのでいつも刺激をいただいている。これからもより良い環境と共に御創りしたいと思います。



営業担当: 柚原 重彦